

始



明治三十九年五月十六日第三種郵便物認可
大正十年十一月廿八日發行日本醸造協會雜誌號外 (每月十日一回發行)

日本醸造協會雜誌

號外



目次

- 第八回全國酒類品評會概況
- 同 授賞人名
- 同 出品及授賞數表
- 以上

日本醸造
協會主催 第八回全國酒類品評會概況

大正十年十月十日より東京府下瀧野川なる醸造試験所内に於て開催せる日本醸造協會主催第八回全國酒類品評會はいよゝ審査終了を告げたるを以て大正十年十一月十八日をトし醸造試験所内に於て其の褒賞授與式を舉行せり、此の日天朝かに風和く清氣四面に漂へり、場内の各種裝飾等は皆前回の如く華ならざれども純、美ならざれども潔、定刻前より出品人及び來賓等旁午として參集し階上階下、人を以て滿され其の數無慮八百名に達したり、午前十一時第一振鈴にて出品人、第二振鈴にて來賓各着席、此時幹事長佐藤悟郎氏舉式を宣し、頓て嚙啞として起る君ヶ代の吹奏終るや審査長農學博士矢部規矩治氏肅然起て審査報告を朗讀し授賞を稟申す、是に於て松本會長は嚴然壇に立ち各等擬賞者及表彰杜氏にそれゝ賞狀を授與したり、次に高橋大藏大臣の祝辭（津島秘書官代讀）、次に神野大藏次官は概要左の如き祝辭演説をなしたり（演説全部は顛末報告書に掲載）

本品評會の效果は醸造界の地位、販賣及び消費界等の各方面に多大の貢獻を與ふること明瞭なり、而して本會主催の品評會は其の主體者に於て、將た其の出品者に於て斯界の有力者より成立せるものにして回を重ねる毎にますます優秀なる成績を示せるは以て其の效果の顯著なるを證據立てるものと謂ふべし

然れども思ふに、社會の事物は駁々として進歩底止するところなし、故に醸造業者に於ても希くは此の進歩的時勢に順應して益々其の改善發達に努力せざるべからず、即ち醸造法乃至貯藏法、經營法等尙進んで改良せざるべからざるもの多々あるを見るべし

殊に近時噴々高唱せられつゝある米穀以外の原料に依る酒造の如き大に研究を要すべき緊要問題に屬す、蓋し今日に於て愈に其の完全なる目的を達せんことは事頗る難事なるに似たるも而かも研究努力怠らなくんば遂に其の彼岸に到達することは決して不可能にあらざるべきを信ず。看よ、往年嘗て夢想に過ぎまりし空中又は海中の征服も今日に於て實現せられたるは皆是れ化學の力に依りて成功せしものにあらずや。是に依て之を見るも醸造の改善發達も亦ますます化學の研究に依て其の目的を達成せざるべからず云々

次に宇佐美東京府知事の祝辭(前田技師代讀)、後藤東京市長の祝辭(井上課長代讀)あり、次に丹波藥學博士は大要左の如き祝辭演説をなしたり(是亦演説全部は顛末報告書に掲載)

余は往年の醸造界と、今日の醸造界の状態とを比較し見る毎に夢現の如き感に打たれつゝあるを覺ふ。余は明治二十年頃或地方に旅行して醸造界の有様を目撃せしに此時頃は些少なる氣候の變化等に會しても到るところ酸敗甘敗等を續出し暗黒なる其の慘狀殆ど見るに忍びざるものありき、然るに今や醸造法なり貯藏法なり皆相當の改良を見、原料の如き朝鮮米なり外國米なり何れも好成績を見ざるなきに至れるは、實に今昔隔世の感なきを得ず

然りと雖人生は總じて研究努力に依て進歩發達し、安心怠慢に依て退歩劣變するは争ふべからざる事實なり、現に今回の品評會結果に見て之を立證するを得べし。即ち意外の地方に意外の好成績を挙げたるに反し、從來名聲噴々たりし地方に意外に劣悪なる結果を示せるは如何、是れ一は研究努力、他は安心満足せし之の致す所に外ならず

蓋し今日の醸造界の現状は前述の如く之を往昔に比しては雲泥の進歩状態にあるは事實なるも、尚ほ研究改善の餘地多々あり乗歩合の増收の如き防腐劑混入廢止の如き等指之を屈するに暇あらざるを見るべし

先刻大藏次官の述べられたる如く米穀以外の原料に依て酒造の成功を見んことは正に是れ時代の要求と謂ふべく醸造家の刮目猛省せざるべからざるところなりとす。余の知る所によれば已に某々所に於て些少の米をも使用せざる他の原料に依て酒造の成功を収めたるものあつて、其の市販に上るは遠からざるべし、又葡萄酒に於ても些の葡萄を使用せず單にアルコールの成分

と色葉とに依りて見事なる葡萄酒を製造し得るに至れり

斯の如く時勢の進歩し來れるに際し、多少品評會の好成績を得たればとて満足安心して其の研究努力を怠るべきは忽ち劣等の地位に陥落すべし、故に醸造家たるものは其の成績に關せずますます奮發研究に努力せざるべからず云々

次に勝東京稅務監督局長の祝辭、全國醸造技術官總代としての鹿又技師、小林全國酒造組合聯合會會長、牧原東京酒類問屋組合頭取(代讀)、大塚静岡縣酒造組合長、廣岡東京酒問屋組合頭取(代讀)、全國酒類新聞協會代表者塚本鑛吉氏の各祝辭あり次に佐藤幹事長より各地祝電即ち大阪、熊本、廣島、名古屋、仙臺、丸龜各稅務監督局長、朝鮮總督府殖産局長、栃木稅務署長、廣島縣中道卯之助氏、熊本縣長尾龜三郎氏、九州酒醬油新聞社、中國酒醬油新聞社、名古屋市淺見加一郎氏、大阪辻村榮助氏京都菱六商店、大阪今野商店の各祝電報告あり、終りに出品人總代星野宗吉氏の答辭ありて閉式を告げたるは午後一時なりき

今回は實に未曾有の盛會にして其の出品點數は清酒四千二百二十二點、味淋九十點、燒酎二百三十六點、總計四千五百四十八點の多きに達し既報の審査當局者諸氏(其中燒酎審査員吉村新左衛門氏病氣の爲め江夏吉助氏代る)各自の擔任審査に嚴正査覈を遂げ名譽金牌清酒一點、金牌清酒三十四點、味淋三點、燒酎二點、銀牌清酒百四十五點、味淋五點、燒酎七點、銅牌清酒三百七十八點、味淋十點、燒酎二十二點、褒狀清酒六百八十一點、味淋十五點、燒酎五十八點、總計一千三百六十一點を選抜して授賞し、又成績優良なりし杜氏川田喜藏氏外二十三名を表彰せるは下掲授賞人名錄に記載せる如し、此日來賓の重なるものは神野大藏次官、丹波藥學博士、勝東京稅務監督局長、小林全

國酒造聯合會長、黄金井同副會長、草間國稅課長、津島秘書官、鹿又技師、嘉儀技師、井上課長、前田技師其の他新聞記者等にして式を了るや直に食卓に就き例會の如く模擬店及び餘興等あり萬々歡裡に全く散會せしは暮鴉西林に急ぐ頃なりき

左に審査報告、告辭、祝辭及び答辭並に授賞人名録を掲載す

審査報告

日本醸造協會主催第八回全國酒類品評會審査終了日本日ヲ以テ褒賞授與式ヲ舉ケラル今回ノ出品ハ清酒四千二百二十二點味淋九十點焼酎二百三十六點總計四千五百四十八點ニシテ其ノ出品點數ノ多キ未ダ嘗テ有ラサル所ナリ之レカ審査ニ付テハ嚴正ヲ旨トシ一般嗜好ノ趨ク所ヲ查覈シ色澤香味共ニ優良ナルモノヲ選抜シ以テ名譽金牌清酒一點金牌清酒三十四點味淋三點焼酎二點銀牌清酒百四十五點味淋五點焼酎七點銅牌清酒三百七十八點味淋十點焼酎二十二點褒狀清酒六百八十一點味淋十五點焼酎五十八點總計千三百六十一點ヲ擬賞シタリ

今審査ノ成績ヲ通覽スルニ清酒ニ付テ豫想モサリシ地方ニ於テ優秀ナル成績ヲ示シタルハ近年後進産地カ意ヲス改良ニ努メタル結果ニシテ實ニ注目ニ値ス又從來優秀ナル成績ヲ示シタル地方ニシテ依然トシテ其ノ地位ヲ維持スルモノアルハ畢竟富業者カ之レニ安ンセス常ニ醸技ノ進歩ニ努メタルニ依ルモノニシテ敬服ニ堪ヘス然レトモ古來銘醸地トシテ知ラレタル地方ニシテ優質ニ與ラサリシモノアリシハ誠ニ遺憾トス宜シク斯業一般ノ進歩ニ鑑ミ奮勵センコトヲ切ニ希望シテ止マサルナリ

味淋ノ審査ハ本會ニ於テ同チ重ムルコト四回其ノ成績優秀ナルモノハ略同一地方ニ限ラレ新地方ニ於テ優賞ノ同チ重ムルモノナシ是亦富業者ノ奮勵ヲ要スル所ナリ

焼酎ハ近年其ノ製造法著シク進歩シ斬新精巧ナル機械ヲ以テシタルモノ其ノ品位殊ニ優秀ナルヲ認ム富業者宜シク之レニ鑑ミ將來ヲ企劃スヘキナリ

出品清酒中防腐劑ノ檢定ニ際シ規定以外ノ反應ヲ呈シ爲ニ喇酒ニ於テ高格ニ擬セラルヘキモノニシテ全ク不合格トナリシモノ

數點ヲ出セシハ誠ニ遺憾トス茲ニ審査ノ結果ヲ錄シテ之ナ會長閣下ニ報告シ褒賞ノ授與アラフコトヲ申請ス

大正十年十一月十八日

日本醸造協會主催第八回全國酒類品評會
 審査長從四位勳三等農學博士 矢部規矩治

告辭

日本醸造協會主催第八回全國酒類品評會審査終了ヲ告ケ審査長ノ薦告ヲ領シ茲ニ褒賞授與ノ式ヲ行フ

多數ノ生産品チ一堂ニ蒐集シテ之ヲ比較品評スルハ其ノ品質改善上最モ必要ナル手段ニシテ酒類ニ於テモ亦各地ニ於テ夙ニ品評會ノ開催セラル、所以ナリ然トモ全國ニ亘ル酒類ノ品評會ハ明治四十年日本醸造協會主催ノ下ニ開催シタルヲ以テ嚆矢ト爲ス爾來本會ハ隔年之ヲ開キ同チ重ムルコト既ニ七回ニ及ビ品質ノ改善進歩ニ資シタルノ効果尠少ナラスト信ス而シテ這般其ノ第八回ヲ開催スルヤ出品點數清酒四千二百二十二點味淋九十點焼酎二百三十六點總計四千五百四十八點ニ達シ前回ニ比スレハ八百三十餘點ヲ増加シテ未曾有ノ盛況ヲ示セリ是レ畢竟富業者諸氏ノ熱心ニ因ルモノニシテ以テ斯業進運ノ情況ヲ窺フコトヲ得ヘク寔ニ慶賀ニ堪ヘサルナリ

請テ之ヲ今回ノ審査成績ニ徴スルニ清酒ニ在リテ金牌ヲ授與シタルモノ三十四ノ多キヲ示シタルト及從來比較的注意ヲ惹カサリシ地方ノ出品ニ對シ金牌ヲ授與シタルモノアルコトハ進歩ノ事蹟顯著ナルヲ證スハシ然トモ亦一面ヨリ觀察スレハ出品ニ對スル授賞總數ノ割合前回ニ比シ減少セルコト及既往ノ成績ニ徴シテ優賞ニ擬セラルヘク期待シタルモノニシテ其ノ否ラサリシモノアリシカ如キ尙其ノ醸造技術ニ改善ノ餘地アルコトヲ示セルモノト謂フモ敢テ認見ニアラサルヘシ又味淋ニ在リテハ其ノ優品一地方ニ偏スルカ如キ感アルハ其ノ原因那邊ニ存スル乎須ラク考究スヘキ事項ナルヘシ燒酎ニ至リテハ前回ニ比シ進歩シタルコトヲ認メラルト雖尙其ノ製造技術ニ於テ研鑽ヲ要スルモノアルカ如シ要スルニ本會ノ成績ハ富業者諸氏ノ努力ノ結果ヲ表現セルモノニ外ナラサルヲ以テ諸氏ハ善ク本會ノ成績ニ鑑ミテ益々技術ヲ磨キ優賞ヲ得タルモノハ永ク其ノ名譽ヲ保

第八回全國酒類品評會概況

持センコトニ努メ否ラサシ者ハ次回ニ於テ優賞ヲ得ンコトヲ期セラルヘシ
惟フニ産業ノ發達ハ品質ノ向上ト産額ノ増加トニ依ラサルヘカラス品質優良ナルモ産額之ニ伴ハサレハ未タ以テ完全ナル發達
ヲ遂ケタルモノト謂フヘカラス由來品評會ハ品質本位ニシテ經營ノ巧拙産額ノ多寡ハ敢テ問ハスト雖最少ノ生産費ヲ以テ最良
品ヲ生産スヘク即チ經濟ニ立脚シテ醸技ノ改善ヲ圖リ由テ以テ優賞ヲ得タル者ニシテ始メテ眞ノ優良者ト稱スヘキナリ冀クハ
品質ノ向上醸技ノ改善ヲ圖ルト共ニ經營ノ方面ニ深甚ノ注意ヲ拂ヒ眞ニ優者タルノ地位ヲ占ムル事ニ努力セラレンコトヲ
尙終ニ一言ス本會ニ於テ優良ノ成績ヲ得タル者ハ當業者カ多年精勵努力シタルニ因ルコト勿論ナリト雖亦之カ製造操作ニ從事
シタル者ノ技能優秀ナリシコトニ因由スルモノト謂ハサルヘカラス是ヲ以テ本會ハ其ノ醸造ニ從事シタル杜氏ニ對シテ其ノ名
譽ヲ表彰シタリ諸氏ハ宜シク其ノ名譽ヲ思ヒ一層其ノ技能ヲ磨キ益々優良品ノ製出ニ勉メラレンコトヲ望ム
本日ノ式典ニ際シ聊カ所思ヲ述ヘテ告辭ト爲ス

大正十年十一月十八日

日本醸造協會主催

第八回全國酒類品評會會長正四位勳二等 松本重威

祝辭

日本醸造協會主催第八回全國酒類品評會褒賞授與式ニ際シ祝意ヲ表スルハ本大臣ノ欣幸トスル所ナリ
酒類ハ我國ノ重要物産ナルト同時ニ其ノ品質ノ良否ハ國民ノ保健ニ重大ナル關係ヲ有スルカ故ニ之カ改善發達ニ關シテハ當局
者ニ於テ常ニ指導ニ努ムル所ナレ共當業者諸氏ニ於テモ亦克ク本會ノ成績ニ鑑ミ更ニ品質ノ向上ヲ圖ルト共ニ生産費ノ節約ヲ
圖リ尙事業ノ經營ヲ堅實ニシテ以テ益々自己ノ福利ヲ増進スルト共ニ國家ニ貢獻セラレンコトヲ望ム

大正十年十一月十八日

大藏大臣子爵 高橋是清

祝辭

日本醸造協會主催第八回全國酒類品評會審査終了ヲ告ケ本日ヲ以テ褒賞授與ノ式典ヲ舉行セラル、ハ本官ノ欣幸トスル所ナリ
惟フニ清酒ハ本邦人ノ主要飲料ニシテ生活ノ向上ト人口ノ増加ニ伴ヒ益々需要ヲ増大シ今ヤ其醸造高ハ六百萬石ニ垂ントセリ
而シテ之レガ醸造方法ノ進歩ト品質ノ改善ハ國家經濟上並ニ公衆衛生上一日モ忽諸ニ附スベカラサルナリ
本會並ニ見ルアリ既ニ同チ重メルト八回ニシテ進歩ノ跡歴然タルモノアルハ慶賀ニ堪ヘサルナリ然リト雖尙研鑽考究ノ餘地
尠シトモ希クハ諸子深ク遺般ノ情勢ト審査ノ結果トニ鑑ミ一層精勵以テ斯業ノ改善ニ努メ本會開催ノ趣旨ニ添ヒ前途ノ大成
ヲ期セラレンコトヲ一言述ヘテ祝辭トス

大正十年十一月十八日

東京府知事從三位勳二等 宇佐美勝美

祝辭

本日ヲトシ茲ニ第八回全國酒類品評會褒賞授與式ヲ舉行セラル洵ニ斯業ノ慶事ト云フヘシ
惟フニ品評會ノ目的ハ其出品ノ優劣精粗ヲ批判スルト共ニ出品者ヲシテ互ニ比較研磨ノ機會ヲ得セシメ以テ斯業ノ發展ヲ圖ル
ニ在リ
第八回全國酒類品評會ノ結果ヲ見ルニ前同ニ比シ著シク改良進歩ノ跡歴然タルモノアルハ當業者諸賢ノ熱誠努力ノ致ス所ナリト
信ス

希クハ出品人諸氏爾今益々奮勵事ニ從ヒ斯業ノ伸暢ト生産ノ興隆ニ努メラレンコトヲ

本日ノ盛儀ニ臨ミ一言陳ヘテ祝辭トス

大正十年十一月十八日

第八回全國酒類品評會概況

祝詞

日本醸造協會主催第八回全國酒類品評會褒賞授與式ヲ舉行セラル、ニ際シ此ノ盛典ニ參列スルヲ得タルハ深ク光榮トスル所ナリ

明治四十年日本醸造協會ヲ設立セラレテヨリ年ヲ閱スルコト茲ニ十有六年其ノ間酒類醬油ノ品評會ヲ開催スルコト八回同ヲ重メル毎ニ益々其ノ盛況ヲ加エテ我國醸造業ノ進歩發達ニ貢獻シ今ヤ本品評會ノ權威ハ廣ク一般ニ認メラル、所トナリ其ノ審査ノ成績ハ恰モ酒類ノ品質ニ對スル最高最終ノ審判タルカ如キ觀テ呈スルニ至リタルハ本品評會ノ爲亦一般醸造業ノ爲深ク慶賀ニ堪エサル所ナリ今親シク實況ヲ視ルニ出品點數四千數百點ニ達シテ空前ノ盛況ヲ呈シ且ツ審査ノ成績モ優良ナル酒類頗ル多數ヲ示セルハ又洵ニ慶賀コト堪ヘサル所ナリ希クハ當業者諸君ハ此ノ審査ノ成績ニ省ミ其製品ノ長短ヲ考エ益々奮勵努力シ以テ其ノ完成ヲ期セラレンコトナ

醜ヲ既往十年間ニ於ケル我醸造界ノ大勢ヲ通觀スルニ清酒ノ産額ハ經濟界ノ盛衰ニ隨伴シ一進一退アリ大正元年度ノ三百三十餘萬石ヨリ最近五百四十餘萬石ニ上リ六割餘ノ増加ヲ來シタリト雖モ前途尙幾多ノ難問題横ハリテ未タ粹ニ樂觀ヲ許サ、ルモノアリ則チ食料問題ニ胚胎シテ造石制限ノ問題アリ又禁酒論ヲ高唱シテ識者ノ耳目ヲ聳動スルモノアリ或ハ化學ノ進歩ニ依リ醇良酒ニ比肩スヘキ模範清酒ノ生産益々増加シ純清酒ノ珍域ヲ侵シ其ノ氣勢實ニ熾烈ナルモノアルヲ知ラハ諸君モ亦憂如タル能ハサルヘシ當業者諸君ハ宜シク斯界ノ大勢ヲ察シ其ノ向フ所ヲ誤ラズ研鑽攻究ヲ積ミテ進歩發達ヲ策シ日新ノ學理ヲ應用シテ品質改善及生産費ノ節約ヲ圖リ以テ之カ對策ヲ研究シ益々精勵努力一層斯業ノ振興ニ盡瘁セラレムコトヲ聊カ所感ヲ述ヘテ祝辭ト爲ス

大正十年十一月十八日

全國各稅務監督局長總代

東京稅務監督局長 勝 正 憲

祝辭

日本醸造協會主催第八回全國酒類品評會審査終了ヲ告ゲ茲ニ本日ヲトシ褒賞授與ノ式典ヲ舉行セラル、ニ當リ我等其ノ席末ニ列シ祝辭ヲ呈スルコトヲ得マスノハ寔ニ光榮、致ス所デアリマス

近時醇良酒ノ要求ハ文化ノ進歩ト共ニ日ヲ追テ益々旺盛ナラントスル傾向ヲ示シ優良酒ヲ產出スルニアラサレバ其ノ聲價ヲ維持スルコト漸ク困難ナラントシテ居ルノデアリマス恰モ此ノ秋ニ當リ本品評會ノ開催ヲ見タノハ正ニ時宜ニ適シタル企圖デアアルコトハ勿論デアリマスガ更ニ酒類ノ將來ハ獨リ優良品ニ依ツテノミ其ノ生命ヲ保有シ得ルト云フコトヲ事實ノ上ニ立證シ廣ク社會ヲシテ之ヲ首肯セシメ近頃特ニ宣傳セラル、禁酒運動等ニモ對抗スルコトニ致シマシタナラバ之亦本品評會ヲシテ有終ノ美ヲ濟サシムル所以デアラウト考フル次第デアリマス

然ルニ醇良酒ノ生産ヲ積極的ニ推奨スルコトハ民衆ニ贊澤ヲ鼓吹スルコトニナリ甚々憂フベキ現象デアラナドト云ツテ居ル人モアルヤウテスガ吾人ノ所謂醇良酒トシテ推奨セントスル製品ハ決シテ市場ニ於テ高値ニ販賣セラル、モノノミノ謂テハ無イ價格低廉ニシテ而モ品質優良ナル酒ノ生産ヲ助長スルコトヲ以テ理想ト致シ度イモノデアリマス殊ニ彼ノ食糧問題カラ發足シタ模範清酒ノ出現ハ在來ノ我が酒造界ニ取ツテハ由々數大問題デアリマシテ之ハ漸次清酒ノ領域ニ侵入スヘキハ火ヲ賭ルヨリモ明カナ事實デアアル折柄同時迄モ並酒造リニ多大ノ資本ヲ固定シテ居ルト云フコトハ餘程考ヘナケレバナラヌ問題ヲ將來ハ如何ニ世況ガ不振ノ極ニ達シテモ常ニ需要ノ確實ナル銘酒ヲ釀出スルニアラザレバ到底模範清酒ニ對抗スルコトハ困難デアアラウト思フノデアリマス

然ルニ昨酒造年度ニ於テ經濟界ノ變動ト共ニ悲觀ノ極ニ沈涵シタル酒造界、物價再騰ノ趨勢ニ伴ヒ去ル五月頃ヨリ再ビ騰勢ニ轉向シ昨今ニ至ツテハ中々ノ強氣配ヲ示シ本年四月ノ指數ニ比シ九月ニ於テ既ニ六割一分ニ暴騰ヲ演シ地方桶酒石百二十圓ヲ絶叫シ尙今後ノ先高ヲ見込シ爲ニ本酒造年度ノ見込石數ハ實ニ五百四十萬石ニ上リ割水切掛ノ如何ニ依リテハ一昨酒造年度ノ盛況ヲ再ビ繰リ返サントシテ居ルノデアリマス加之昨年來頓ニ不振ニ陥リ貿易ハ本年ニ入り更ニ沈衰シ下期ノ出超期ニ

於テモ運月入超ヲ續ケ十月累計ニ於テ入超額ハ既ニ三億一千五百萬圓ヲ突破シ年内ニハ四億近クノ入超ヲ見ルベキ形勢ヲ示シ我ガ經濟界ニ最モ關係深キ日米貿易ノ如キ今正ニ逆轉シテ居ル現狀テ一昨年頃ノ經濟界トハ全然其ノ内容ヲ異ニシテ居ルノデアリマス然ルニ昨今酒價ノ暴騰ハ何事デアリマセウ恐ラクハ商品思惑ノ再燃ニ依ルノテハナカラウカト想像セラル、ノデアリマスガ斯ノ如キハ決シテ永續スベキ現象デアアルマイト信ズルノデアリマス

今ヤ酒造季節ニ差シカ、リ各當業者諸君ハ仕込ニ忙殺セラレ他ヲ顧ルノ迫モ無イ時機トナリカケテ居マスガ世運ノ大勢ガ既ニ前述ノ通りデアルトスレバ此ノ際當業者諸君ノ採ルベキ方策ハ自ラ決定セラレテ居ル答デアリマスカラ醸技ノ上ニモ經營ノ上ニモ一段ノ考慮ヲ廻ラサレ財界ノ前途ヲ遠觀シテ苟モ事業ノ上ニ蹉跌ヲ來タスガ如キコト無キヤウ冀フ次第デアリマス

今日ノ盛典ニ列シ聊カ所願ノ一端ヲ披瀝シテ祝辭ト致シマス

大正十年十一月十八日

全國釀造技術官總代

大藏技師兼稅務監督局技師正六位勳六等 鹿 又 親

祝 詞

日本釀造協會主催第八回全國酒類品評會審査終了ヲ告ゲ褒賞授與ノ盛典ヲ舉行セラル、ニ當リ不肖作五郎其ノ席末ニ參列スルヲ得タルハ最モ光榮トスル所ナリ

惟フニ我酒造業ハ本邦重要ノ産業ニシテ國家ノ財政經濟及國民保健上至大ノ關係ヲ有スルハ今更多言ヲ俟タザル所ナリ日本釀造協會ハ茲ニ見ル處アリ是レガ改善發達ニ資センガタメ品評會ヲ開カレ、コト既ニ八回星霜ヲ閱スルコト十五ケ年ニ達シ同ヲ重ヌルニ從ヒ出品増加シ今回ノ如キハ實ニ未曾有ノ大多數ニ上レリ其間品質ノ優劣ヲ鑑査審究シテ刺激ヲ與ヘ其效果頗ル顯著ニシテ今全國到ル所ニ銘釀芳醇ヲ出シ斯界ノ面目ヲ一新スルニ至リシハ洵ニ慶賀ニ堪ヘザル處ナリ然レドモ斯業ノ前途ハ尙ホ遠邁ニシテ釀造上各般ニ涉リ當局有司指導ノ下ニ學理的改善ヲ加フベキモノ尠シトセザルニ依リ名譽アル入賞者ト否トチ間

ハズ將來ハ一層研鑽ヲ怠ラズ倍々奮勵努力セザルベカラズ想フニ酒造界モ昨春經濟界ノ變動ニ因リ大打撃ヲ被リ頗ル憂慮スル所アリシガ茲ニ全國一致シテ三割減ヲ實行シ需給ノ調節ヲ圖リシ結果稍々恢復ノ域ニ進ミ樂觀ノ傾向アルモ未ダ斷シテ輕舉ノ時期ニ非ズト信ス希クハ當業者タルモノ益斯業ノ健實ナル改善、達ニ奮勵努力シ以テ本會開催ノ趣旨ニ副フト共ニ國家ニ貢獻シ併セテ自己ノ福利ヲ増進セラレンコトヲ聊カ所思ヲ陳ベ以テ祝辭トス

大正十年十一月十八日

全國酒造組合聯合會長 小林作五郎

祝 辭

時方ニ白雲紅葉ノ候日本釀造協會主催第八回全國酒類品評會ハ本日ヲ以テ盛大ナル褒賞授與式ヲ舉行セラル、ハ我釀造界ノ欣喜ニ堪ヘサル所ナリ惟フニ方今酒類釀造界ノ進歩發達ハ一ニ貴會ノ熱誠ナル盡瘁ニ負フ處多大ナリト信ス自今層一層我酒界ノ爲メ益盛大ナランコトヲ希望シ茲ニ聊カ蕪辭ヲ述ヘテ祝意ヲ表ス

大正十年十一月十八日

東京酒類問屋組合頭取 牧原仁兵衛

祝 辭

日本釀造協會主催第八回全國酒類品評會ハ本日ヲ以テ褒賞授與ノ式典ヲ舉行セラル、ニ方リ其席ニ列スルコトヲ得タルハ予ノ光榮トスルトコロナリ

傳ヘ聞ク鯤ハ南海ヲ懸倒シ海若ハ北溟ヲ掀翻スト水魚ノ類ト雖其大ナルモノニ至テハ人ヲシテ長怖セシムルコトノナキニ非ス蚯蚓聲ヲ數町ニ放チ空蟬鳴テ其音山嶽ニ震フナ知ル蓋爾タル微物ト雖モ真性ノ德光ヲ發揮スルニ及テハ人亦及ハサル所アリト

第八回全國酒類品評會概況

吾北海道ノ地タル皆天然生葡萄ノ繁密ヲ極メ一望ノ原野ハ穠々焉トシテ四方皆モ綠雲ノ蔽フカ如キ日アリシト聞ク然レトモ更ニ人ノ顧ミル所トナラザリシガ彼ノ猿公ナル「モンキー」ノミ獨リ其ノ占領ヲ肆ニシ天然葡萄ヲ採テ多ク蓄藏シ酒ヲ釀シテ以テ自家ノ嗜好ニ充テタリ而シテ冬ナレバ用ヒテ以テ暖ヲ取リ殘滓ヲ併テ餌食トナシ春ナレバ搾飲自適陶然トシテ江湖ノ上ヲ忘レ幾千年ノ間歡娛ヲ極メ逸豫ヲ占メ兒孫ノ蕃息ヲ謀ルル勲焉タルニ至リテハ賢且才ナリト謂フモ過稱ナルベカラズ且夫レ倉庫ナキニ葡萄ノ多キヲ貯藏シ車ヲ有セサルニ運輸ノ道ヲ講シ桶ナキニ酒ヲ釀シ處々立木ノ樹孔ヲ唯一ノ利器トナシテ天ノ美祿ナル葡萄酒豐富ナルニ年壽ヲ保テル所以ハ彼等ガ稟性自然ノ徳タルベキモ其技術ノ敏且巧ナルニ至テハ人亦三舍ヲ避ケザルナ得ス

今ヤ吾釀界ノ進運タル昔日ノ觀ニ非ラス技ヲ練リ術ヲ磨セル效果ノ彰々焉トシテ昭カナルハ枚舉ニ遑アラスト雖蓋研鑽ノ極致ニ就テハ未タ以テ十全完備ノ域ニ達セルモノトハ稱スルヲ得ス凡世事ハ尺ニ寸ヲ増シ丈ニ尺ヲ延フルニ常數タリトス丈ニシテ丈ヲ累ホ尺ニ尺ヲ倍スルニ於テハ奇數ナリト謂フヘシ奇ハ以テ瞻仰ス可ク常ハ以テ敢テ記スルノ價值ヲ有セス吾釀界ノ事タル其常ナランヨリハ寧ロ奇ナラン事ヲ庶幾セントス然リ而シテ彼ノ「モンキー」ナシテ方今斯業ノ技能ヲ知ラシメバ彼ハ必スヤ言ハシ後世長レヘシト若夫穀物ノ徳性ニ依リ聲ヲ放テ山嶽ニ震ヒ鯉ト海若ノ如キ其人ノ當業界中ヨリ出ルノ日アラハ當ニ現代ノミナラス將來ニ向テ斯業ノ興隆ヲ揮進策シ一世ヲ振撼スルモノト謂フヘシ吾人ノ翹望シテ止マサル所以ノモノハ是ナリトス聊カ所感ヲ叙シテ祝辭ニ代フ

大正十年十一月十八日

静岡縣酒造組合長 大塚甚之助

祝辭

秋風將ニ酷セルノ好季ヲトシ日本釀造協會主催第八回酒類品評會褒賞授與式ヲ學行セラル、ニ際シ席末ニ列スルヲ得タルハ深

ク光榮トスル所ナリ

抑モ酒類ハ我國重要物産中ノ白眉ニシテ是レカ盛衰消長ハ影響スル所極メテ至大ナレハ日本釀造協會ハ本品評會ヲ開催シテ其ノ進歩發達ニ努力スルコト茲ニ年アリ今ヤ本品評會ハ斯界ニ於ケル權威ニシテ本年ハ出品點數最モ多數ニ上リ品質ノ進歩ト相俟ツテ霽然斯界ニ偉觀ヲ呈セリ是レ斯界ノ爲メニ頗ル慶賀ニ堪ヘサルナリ

希クハ將來倍々研鑽努力以テ有終ノ美果ヲ收メラレンコトヲ聊カ蕪辭ヲ陳シテ祝辭ト爲ス

大正十年十一月十八日

東京酒問屋組合頭取 廣岡助五郎

祝辭

日本釀造協會主催第八回全國酒類品評會褒賞授與式ヲ舉行セラル、ニ方リ不肖等幸ニ席末ニ列スルヲ得タルハ最モ光榮トスル所ナリ
凡ソ釀造上酒類ノ改良進歩ヲ圖ルノ途ハ頗ル多シト雖モ蓋シ品評會ハ之レガ捷徑ニシテ效果亦頗ル多大ナリ就中本品評會ハ日本釀造協會ガ斯界最大最高ノ機關トシテ逐年開催シ來レモノナレバ其ノ齋ス絶大ナル實績ニ至リテハ蓋シ想像ノ及バザル所ナルベク今其成績ヲ聞クニ出品點數無慮四千五百有餘點ノ多數ニ上リ從ツテ品質ノ整正發達頗ル見ルベク然モ本日褒賞授與ノ光榮ニ接セラレタル諸子ノ出品ニ至リテハ最モ優秀佳良ナリト云フ。是レ斯界ノ爲メ最モ慶賀ニ堪エザル所ニシテ不肖等モ亦聊カ斯界ニ筆硯ヲ具シテ立ツ身ヲ以テ此ノ慶福ヲ頌ツテ得ルハ衷心欣幸トスル所ナリ然リト雖モ斯界ノ將來ハ頗ル多事ニシテ斯道ノ改善進歩ヲ要スルハ多々益々深キヲ感ズ須ク諸氏ハ此ノ狀勢ニ鑑ミ本品評會審査ノ成績ニ微シ倍々奮勵努力他日ノ大成ヲ期セラレンコトヲ爰ニ蕪辭ヲ述ベテ祝辭トナス

大正拾年拾壹月拾八日

全國酒醬油新聞協會 (イロハ順)

日本酒醬油新聞社

答 辭

日本醸造協會主催第八回全國酒類品評會審査終了シ本日ヲ以テ褒賞授與ノ式典ヲ舉ケラレ會長閣下並ニ貴紳諸賢ノ御懇諭ヲ辱
 フス出品人ノ面目光榮之ニ過キサルナリ
 思フニ最近ニ於ケル酒造業ノ進歩ハ稍々觀ルヘキモノアリ之レ偏ニ當局ノ指導獎勵其ノ宜シキニ因ルト雖亦日本醸造協會ノ施
 設ニ貢フ處夥ナカラサルナリ然レ共之ヲ諸他工業ノ駁々乎トシテ進ミツ、アルニ比スレハ遜色ナキ能ハサルヲ以テ吾人當業者
 宜シク經營ニ又技術ニ最新ノ學理ヲ應用シテ尙一層ノ奮勵ヲ要ス此ノ秋ニ際シ日本醸造協會ハ重ネテ本會ヲ開催シテ以テ酒類
 ノ品質改善ニ實セラレタルハ深ク感謝ス、所ナリトス將ニ來ラントスル酒造期ニ於テハ善ク本會審査ノ成績ニ鑑ミ精勵努力シ
 一層品質ノ改善ヲ圖リ以テ本日ノ光榮ニ貢カサルコトヲ期ス不肖宗吉出品人一同ヲ代表シ茲ニ謹ンテ答辭ヲ述フ

大正十年十一月十八日

出品人總代 星野宗吉

日本醸造協會主催 第八回全國酒類品評會授賞人名錄

●清酒名譽賞

兩 關 秋田縣 伊藤仁右衛門

●清酒ノ部

○清酒金牌

酒	賀	同	同	白	福	國	三	賀	福	福	福	關	輻
茂	菊	菊	菊	菊	美	ノ	吉	茂	美	美	美	西	美
鶴	二	二	二	二	一	一	正	人	人	人	人	人	人
府	秋	秋	秋	秋	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣
縣	田	田	田	田	島	島	島	島	島	島	島	島	島
氏	高	高	高	高	賀	賀	賀	賀	賀	賀	賀	賀	賀
名	橋	橋	橋	橋	茂	茂	茂	茂	茂	茂	茂	茂	茂
	長	長	長	長	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴	鶴
	助	助	助	助	酒	酒	酒	酒	酒	酒	酒	酒	酒
	(一號)	(一號)	(一號)	(一號)	造	造	造	造	造	造	造	造	造
	(二號)	(二號)	(二號)	(二號)	株	株	株	株	株	株	株	株	株
	(三號)	(三號)	(三號)	(三號)	式	式	式	式	式	式	式	式	式
	(四號)	(四號)	(四號)	(四號)	會	會	會	會	會	會	會	會	會
	(五號)	(五號)	(五號)	(五號)	社	社	社	社	社	社	社	社	社
	(六號)	(六號)	(六號)	(六號)									
	(七號)	(七號)	(七號)	(七號)									
	(八號)	(八號)	(八號)	(八號)									
	(九號)	(九號)	(九號)	(九號)									
	(十號)	(十號)	(十號)	(十號)									
	(十一號)	(十一號)	(十一號)	(十一號)									
	(十二號)	(十二號)	(十二號)	(十二號)									
	(十三號)	(十三號)	(十三號)	(十三號)									
	(十四號)	(十四號)	(十四號)	(十四號)									
	(十五號)	(十五號)	(十五號)	(十五號)									
	(十六號)	(十六號)	(十六號)	(十六號)									
	(十七號)	(十七號)	(十七號)	(十七號)									
	(十八號)	(十八號)	(十八號)	(十八號)									
	(十九號)	(十九號)	(十九號)	(十九號)									
	(二十號)	(二十號)	(二十號)	(二十號)									

第八回全國酒類品評會授賞人名錄

〔本表中ノ氏名ノ頭ニ〇印チ付
シタルハ二點以上出品シ別ニ
上位ニ於テ授賞セラレタル者〕

○賀茂鶴酒造株式會社

第八回全國酒類品評會授賞人名錄

○清酒銀牌

李	富	白	大	神	賀	男	朝	花	菊	瑞	關	同	諫	關	都	菊	智	朝
白	湖	正	和	茂	白	日	正	正	正	白	白	白	白	一	長	宗	仁	山
孟	宗	宗	宗	花	露	輝	慢	山	司	宗	鷹	白	白	白	一	長	宗	男
口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口
千	長	兵	岡	岡	岡	岡	山	新	京	兵	熊	岡	岡	京	廣	廣	廣	新
業	野	庫	山	島	山	山	島	湯	都	庫	本	山	山	都	島	島	島	湯
飯	山	山	中	大	株	株	株	株	株	株	株	株	株	株	株	株	株	株
倉	邑	邊	國	山	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式
清	酒	捨	酒	正	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社
右	造	拾	造	次	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小
衛	株	吉	株	平	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田
門	式	吉	式	次	河	河	河	河	河	河	河	河	河	河	河	河	河	河
飯	山	山	中	大	株	株	株	株	株	株	株	株	株	株	株	株	株	株
倉	邑	邊	國	山	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式
清	酒	捨	酒	正	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社
右	造	拾	造	次	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小
衛	株	吉	株	平	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田
門	式	吉	式	次	河	河	河	河	河	河	河	河	河	河	河	河	河	河

富	白	神	富	鷹	關	慶	龜	山	公	磯	滿	万	神	ふ	喜	富	金	鷹	光	み	金	金
百	ノ	四	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
士	合	聖	士	條	一	長	齡	吹	明	鳥	一	能	杉	峯	丹	長	宗	宗	井	越	宗	陵
口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口
山	廣	京	山	同	廣	京	同	廣	茨	岡	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
形	島	都	形	形	島	都	島	島	城	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
加	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
藤	本	源	兵	衛	加	藤	富	三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎	吉
富	三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎	吉	三
三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎
三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎
三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎	吉	三	郎

第八回全國酒類品評會授賞人名錄

第八回全國酒類品評會授賞人名錄

勸寶	讚放	お	龜	功	白	白	國	諫	博	龜	夫	花	兩	峯	國	玉	正	都	光
長真	珠美	る	正	正	百	金	万				婦	の	正	正	光	正			の
花	珠	美	駒	鶴	齡	宗	合	宗	歳	鼓	文	線	宗	井	關	宗	旭	宗	川
イ	イ	ハ	ロ	イ	イ	ロ	イ	イ	三	乙	に	智	イ	イ	ロ	ロ	二	ロ	イ
同	山	同	同	岡	廣	福	廣	福	秋	京	山	同	岡	茨	秋	岡	秋	山	千
年	渡	岡	津	西	石	星	吉	會	川	大	竹	香	合	西	伊	高	星	遠	三
光	邊	田	崎	原	井	野	宗	津	口	八	本	西	資	岡	藤	橋	野	田	宅
枝	富	新	助	金	峯	真	與	酒	新	木	利	社	野	右	仁	宇	宗	善	三
太	人	郎	郎	藏	吉	治	吉	造	助	庄	喜	店	山	衛	衛	吉	兵	次	郎
向	雄	峯	姨	玉	晴	三	防	龜	櫻	香	初	英	金	清	相	花	神	白	み
井	物	正	正	正	羽	長		久	紅	金	正	正	此	樂	正	正	牡	さ	ほ
櫻	川	宗	宗	鳳	宗	鶴	花	綠	冠	山	業	井	宗	宗	輝	長	宗	露	丹
口	號	乙	ハ	ロ	一	ロ	イ	三	一	二	ロ	ロ	イ	ハ	イ	ハ	イ	ハ	イ
廣	秋	廣	長	京	埼	京	山	同	岡	福	山	秋	同	京	佐	京	岩	岡	廣
島	田	島	野	都	玉	都	口	同	山	島	口	田	同	都	賀	都	手	山	島
向	高	田	合	安	中	木	年	香	田	佐	原	高	齋	堀	西	大	刈	株	島
井	久	中	資	田	山	村	光	西	口	藤	橋	藤	野	山	谷	屋	式	博	島
原	儀	儀	社	善	山	山	西	利	雄	喜	清	真	久	積	庄	酒	社	三	島
酒	助	助	和	五	德	宗	枝	喜	一	十	兵	一	次	助	造	造	三	東	島
造	太	太	田	郎	太	兵	太	松	郎	郎	衛	郎	郎	助	造	社	三	東	島
株式	太	太	田	郎	太	兵	太	松	郎	郎	衛	郎	郎	助	造	社	三	東	島
株式	太	太	田	郎	太	兵	太	松	郎	郎	衛	郎	郎	助	造	社	三	東	島

○清酒銅牌

翼	千	壽	慶	財	百	櫻	悠	龍	金	英	鳩	男	花	慶	笑	大	喜	李	鶴	金		
茂	美	乃	方	心	冠	嶺	勢	寶	雄	宗	正	自	の	井	長	鬼	龜	丹	孟	宗	瓢	
櫻	福	井	長	源	心	冠	嶺	勢	寶	雄	宗	櫻	井	長	鬼	龜	丹	孟	宗	瓢		
口	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	口	口	ハ	イ	イ	ロ	ハ	ロ	ロ	ロ	
廣	同	廣	京	同	廣	岡	群	廣	福	秋	京	山	茨	京	岡	千	廣	千	同	京		
島	島	島	都	島	島	山	馬	島	島	田	都	口	城	都	山	葉	島	葉	都	都		
武	三	中	中	合	西	本	藤	仁	森	松	松	西	中	田	飯	栗	飯	谷	秋	山		
田	宅	上	伊	名	口	間	井	井	川	本	田	岡	伊	淵	田	原	倉	多	山	太		
信	清	勘	兵	義	雄	善	善	田	祐	治	德	牛	兵	久	德	省	右	喜	太	三		
一	衛	三	衛	之	一	太	七	稔	真	太	三	右	衛	治	三	衛	門	門	耶	耶		
八	晴	ま	初	日	加	玉	大	富	神	諫	黃	安	旅	遺	國	光	金	龜	榮	兩	賀	千
木	雲	紅	本	富	乃	久	金	喜	友	宗	一	井	宗	齡	秀	關	鶴	春	代	の	春	春
泉	宗	峯	葉	海	登	岩	春	長	聖	鼓	井	壽	友	宗	一	井	宗	齡	秀	關	鶴	春
イ	い	第一	ハ	イ	ハ	内	ロ	ニ	イ	イ	ロ	イ	ロ	ロ	ハ	イ	イ	ハ	イ	ハ	イ	イ
同	埼	岩	山	島	熊	廣	岡	廣	同	京	秋	廣	枋	同	同	廣	京	廣	京	秋	岡	同
玉	手	口	根	本	島	島	島	都	都	田	島	島	木	同	同	都	都	都	都	田	山	山
五	八	中	原	瀧	富	吉	加	合	山	大	高	小	星	渡	古	光	堀	石	藤	伊	河	竹
木	山	井	田	川	田	市	藤	名	本	八	橋	畑	野	邊	川	町	野	井	原	藤	田	尾
賢	德	源	新	福	市	太	逸	會	水	木	清	真	半	卷	英	久	峯	山	仁	右	忠	完
一	太	之	之	之	平	次	次	社	源	庄	兵	助	六	助	太	支	吉	支	右	衛	一	郎
一	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	社	兵	衛	助	助	助	助	郎	店	支	支	衛	門	郎	郎
一	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	社	衛	助	助	助	助	助	郎	店	支	支	衛	門	郎	郎

Table listing award recipients on the left page. Columns include name (e.g., 富久), address (e.g., 富久), and award details (e.g., 品鼓). Includes sub-headers like 甲, 乙, 丙.

Table listing award recipients on the right page. Columns include name (e.g., 鳳城), address (e.g., 鳳城), and award details (e.g., 品鼓). Includes sub-headers like 甲, 乙, 丙.

第八回全國酒類品評會授賞人名錄

萬士	同	金	松	富	米	櫻	陸	英	壽	壽	富	醉	竹	金	金	山	白	全	明	本	千
の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の
鶴	能	時	風	壽	宗	美	山	動	海		高	寶	鶴	陵	銅	長	鳥	一	神	泉	花
口	口	イ	一	二	口	ハ					ハ	イ	口	口	ホ	口	口	口	口	口	口
號	號	號	號	號	號	號					號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號
靜	山	同	秋	佐	福	山	長	青	京	兵	山	福	岡	廣	香	山	同	同	廣	愛	長
岡	岡	岡	岡	賀	岡	形	野	森	部	庫	口	島	山	島	川	口			島	媛	野
五	十	助	嵐	義	人	助	作	文	三	門	門	門	門	門	門	門	門	門	門	門	門
菊	緋	金	八	登	群	喜	虎	壽	峯	笑	宮	司	花	招	聖	優	花	朝	力	金	金
張	緋	千	富	士	鶴	井	笑	旭	宗	錦	菊	波	德	人	宗	友	花	石	人	肢	響
乙	三	號	ハ	イ	イ	口	口	第三	口	二	口	乙	口	口	一	口	イ	一	第二	イ	號
福	長	山	京	岡	群	長	岐	山	秋	長	北	京	廣	京	群	枋	北	朝	埼	山	佐
岡	野	形	都	山	馬	野	阜	口	田	野	海	都	島	都	馬	木	海	鮮	玉	形	賀
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
青	山	中	谷	三	野	鹽	前	中	高	丸	曲	大	中	木	伴	杉	野	朝	細	五	光
水	岸	村	宅	野	入	川	川	村	橋	山	田	中	大	村	村	野	野	鮮	川	十	上
岩	三	丹	常	六	治	右	幸	福	字	紋	宮	橋	橋	村	內	崎	酒	酒	太	光	上
吉	介	治	二	耶	門	門	平	吉	吉	耶	社	七	七	耶	市	耶	造	太	三	武	力
																		株	三	耶	太
																		式	耶	耶	耶
																		會	耶	耶	耶
																		社	耶	耶	耶

電	菊	晴	旭	杉	三	阪	放	快	龜	瑤	天	日	金	國	東	菊	樹	一	關	瀨	十
乃	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の	の
澤	宗	城	宗	菊	勇	宗	一	駒	哉	井	地	長	丸	宗	宗	宗	泉	德	館	白	音
一	イ	第二	口	イ	口	イ	口	イ				ニ	口	口	口	一	口	木	口	イ	イ
號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號
福	長	野	本	玉	川	山	形	山	群	岡	廣	山	形	木	和	歌	秋	京	廣	秋	廣
岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡
高	小	有	中	東	杉	牧	海	津	富	今	飯	島	齊	野	野	野	野	野	野	野	野
木	松	田	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
喜	傳	幸	德	榮	恒	祝	政	助	俊	龜	安	甚	久	衛	造	門	治	助	衛	吉	音
三	郎	語	人	郎	松	郎	三	郎	郎	治	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎
東	雷	雄	凱	天	此	菊	別	藤	同	虎	住	香	千	慶	寶	此	初	司	湯	卷	
瀧	物	や	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正
水	鳥	川	旋	宗	花	泉	嶺	宗	笑	吉	山	友	長	珠	花	寶	宗	丹	宗	丹	
イ	口	ハ	イ	口	口	第三	イ	ハ	ニ	口	イ	ニ	口	イ	ニ	口	イ	イ	イ	イ	
號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	
群	長	秋	岩	佐	同	福	廣	山	岩	同	岐	山	福	廣	福	京	山	廣	大	廣	
馬	野	田	手	賀	島	島	形	手	手	手	手	手	手	手	手	手	手	手	手	手	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
渡	大	高	藤	松	宮	河	北	長	關	同	前	合	九	高	中	渡	荒	谷	小	佐	
邊	門	久	村	木	森	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野
繁	造	儀	精	正	常	善	九	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助
治	株	儀	一	記	八	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶
	式	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助
	會																				
	社																				

第八回全國酒類品評會授賞人名錄

東男	白利	由利	鶴正	森の	福の	芍藥	淡海	豐盛	美少	日々	磯乃	寶昇	祐正	日海	若本	玉鳳	五正	三悅	岩宗	福娘	千袖		
一鳩	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	
イ	一	ハ	ロ	イ	甲	乙	イ	ニ	ニ	ハ	ロ	ロ	甲	イ	ハ	ロ	イ	ハ	ロ	イ	ハ	ロ	
岡山	廣島	秋田	山形	愛媛	秋田	京都	滋賀	福岡	熊本	山形	福岡	福岡	佐賀	島根	福岡	京都	北海道	同	岡山	秋田	京都	廣島	
小野	原野	齋藤	齋藤	藤永	木村	谷村	山田	豐村	南村	春酒	高木	山寺	水頭	瀧川	岩尾	安田	丸善	荒木	仁科	木村	北川	三宅	
伊之七	田有	藤太	藤太	保定	孫四	太郎	新八	喜三	喜三	酒造	喜三	喜三	碧	助	五郎	五郎	谷合	酒造	久太郎	孫四郎	三右衛門	清兵衛	
都賀	神快	清浦	清浦	吟香	西海	大正	萬正	日長	備陽	強國	大白	安藝	澤之	醉樂	源氏	譽の	八白	初雪	山幣	大盛	御春	御春	
正宗	露宗	安宗	安宗	安宗	安宗	安宗	安宗	安宗	安宗	安宗	安宗	安宗	安宗	安宗	安宗	安宗	安宗	安宗	安宗	安宗	安宗	安宗	安宗
口	口	ハ	三	イ	乙	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口
栃山	岡山	群馬	東京	大分	京都	大分	島根	岡山	長崎	新潟	同	廣島	兵庫	福岡	香川	山形	兵庫	熊本	岡山	岡山	愛媛	愛媛	
渡邊	土屋	小野	波邊	高村	川村	長野	瀧川	荒木	森源	目黒	同	水原	石崎	合名	山田	國井	小西	高田	岡山	加藤	秋川	秋川	
四郎	徳太郎	佐平	走馬	熊次郎	熊次郎	善五郎	福之助	酒造	源治	文平	文平	株式	株式	株式	株式	株式	株式	株式	株式	株式	株式	株式	株式

鶴王	富國	千泉	初松	東水	鴨正	菊白	豐の	武藏	作樂	長橋	名正	都宗	備大	子松	眞心	明神	千代	益城	清正	醉樂			
宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗	宗宗		
イ	第三	ハ	一	イ	ロ	二	イ	三	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	
京都	千葉	福岡	廣島	群馬	廣島	佐賀	島根	埼玉	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	
谷多	田中	田中	龜井	渡邊	重代	米田	中山	中山	羅南	羅南	羅南	羅南	羅南	羅南	羅南	羅南	羅南	羅南	羅南	羅南	羅南	羅南	
喜藏	茂太郎	政	二	治	勘藏	元一	五郎	五郎	協治	協治	協治	協治	協治	協治	協治	協治	協治	協治	協治	協治	協治	協治	
富士	浦利	由利	銀正	金乃	由乃	松乃	住吉	山陽	萬正	萬正	萬正	萬正	萬正	萬正	萬正	萬正	萬正	萬正	萬正	萬正	萬正	萬正	
乃安	宗安	宗安	宗安	宗安	宗安	宗安	宗安	宗安	宗安	宗安	宗安	宗安	宗安	宗安	宗安	宗安	宗安	宗安	宗安	宗安	宗安	宗安	宗安
二	口	二	三	一	イ	ロ	イ	ロ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	
岡山	岡山	秋田	青森	長野	香川	秋田	新潟	山形	廣島	千葉	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	
○長	○藤	○藤	○藤	○藤	○藤	○藤	○藤	○藤	○藤	○藤	○藤	○藤	○藤	○藤	○藤	○藤	○藤	○藤	○藤	○藤	○藤	○藤	
己屋	藤久次	藤久次	藤久次	藤久次	藤久次	藤久次	藤久次	藤久次	藤久次	藤久次	藤久次	藤久次	藤久次	藤久次	藤久次	藤久次	藤久次	藤久次	藤久次	藤久次	藤久次	藤久次	

○清酒衰狀

第八回全國酒類品評會授賞人名錄

末山	東三	榮玉	壬森	丸方	玉桂	東端	司寶	初龜	天	天	豐	醉	常										
瀨江	洋	櫻	加茂	日出	川	萬	牡	江					盤										
廣川	櫻	錦	川	鳳	川	廣	鷹	丹	龜	綠	櫻	狗	馬	盛	力	木							
イ	イ	ロ	ロ	ハ	甲	一	イ	イ	イ	三	ハ	イ	イ	甲									
號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號									
福	群	岡	山	島	福	京	栃	愛	埼	岡	群	廣	熊	高	岡	新	岡	秋	岡	福	廣	滋	
島	馬	山	口	根	島	都	木	媛	玉	山	馬	島	木	知	山	山	山	田	山	岡	福	廣	滋
新	山	淺	柳	宇	石	安	小	篠	田	自	柳	保	吉	佐	高	板	淺	小	小	小	豐	深	川
城	賀	沼	武	津	川	田	田	原	村	神	澤	澤	村	川	見	垣	沼	西	野	野	村	田	村
猪	瀨	辨	武	寅	豐	善	垣	四	六	佐	竹	秀	太	釀	德	長	辨	源	伊	喜	合	壽	壽
之	次	作	雄	市	吉	五	助	三	兵	藏	次	一	耶	造	一	太	太	太	七	三	名	一	一
吉	耶	耶	耶	耶	耶	支	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	社	耶	耶	耶	耶	耶	耶	社	社	社
鶴	三	三	日	白	日	樂	獅	登	山	花	旭	菊	神	月	日	松	喜	讀	花	花	梅	梅	此
乃	ツ	ツ	々	本	正	器	子	富	陽	若	若	若	若	正	正	正	正	正	乃	乃	乃	乃	乃
海	花	花	喜	藤	堤	宗	頭	士	司	思	業	代	露	宗	里	宗	井	京	美	井	井	花	花
口	イ	ロ	ニ	イ	ロ	イ	イ	ロ	ロ	イ	二	イ	ロ	ロ	イ	イ	イ	イ	イ	ハ			
號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號
岡	廣	廣	山	青	愛	福	岡	岡	廣	廣	岡	秋	三	滋	滋	山	京	岡	茨	茨	福	福	福
山	島	島	形	森	知	島	山	山	島	島	山	田	重	賀	賀	形	都	山	城	城	岡	岡	岡
横	原	原	存	藤	間	大	河	三	内	内	大	株	鈴	湖	岡	山	山	岡	第	第	矢	野	野
山	田	田	霞	田	瀬	木	上	宅	藤	藤	島	式	木	南	川	川	川	二	二	二	野	野	野
藤	實	實	酒	久	久	代	幹	常	久	久	小	會	辰	釀	榮	榮	榮	四	四	四	三	三	三
入	二	二	造	次	次	吉	次	太	太	太	田	社	次	造	治	治	治	衛	衛	衛	三	三	三

愛正	朝	鬼	憲	神	備	金	ふ	白	八	櫻	萬	海	比	都	狸	菊	白	醉	鶴	心			
朝	日	乃	正	乃	大	正	の	重	の	委													
東	宗	梅	宗	美	動	宗	井	菊	垣	山	代	鶴	泉	長	々	水	藤	室	仙	鏡			
口	三	ハ	ロ	ロ	イ	イ	イ	イ	一	二	イ	ハ											
號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號
東	群	兵	山	岡	岡	山	新	福	兵	廣	千	兵	廣	熊	奈	山	岡	岡	福	廣			
京	馬	庫	形	店	山	口	島	島	庫	島	葉	庫	島	本	真	山	山	山	島	島	島	島	島
小	美	石	寮	濱	荒	長	小	猪	園	櫻	三	世	魚	北	斯	丸	若	松	合	名	會	社	三
山	美	橋	乃	田	木	陽	林	股	野	山	木	三	住	村	波	尾	秋	木	會	社	三	郎	兵
酒	濃	市	梅	新	酒	酒	政	角	源	酒	酒	酒	長	宗	快	常	官	多	名	會	社	郎	兵
造	岡	太	酒	次	造	造	太	三	三	造	造	造	三	四	助	次	多	會	社	郎	兵	郎	兵
合	定	耶	造	耶	合	合	耶	耶	耶	合	合	合	合	合	合	合	合	合	合	合	合	合	合
名	吉	耶	社	耶	名	名	耶	耶	耶	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
會	吉	耶	社	耶	會	會	耶	耶	耶	會	會	會	會	會	會	會	會	會	會	會	會	會	會
社	吉	耶	社	耶	社	社	耶	耶	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社
榮	榮	富	益	親	清	警	本	國	友	豐	五	菊	旭	丸	福	日	金	東	稻	資	津	津	津
川	川	宗	き	玉	松	松	泉	富	鶴	宗	宗	代	葉	宗	宗	月	宗	宗	花	鯉	櫻	櫻	櫻
川	川	宗	き	玉	松	松	泉	富	鶴	宗	宗	代	葉	宗	宗	月	宗	宗	花	鯉	櫻	櫻	櫻
イ	ロ	イ	一	三	イ	イ	ハ	ロ	ロ	一	ロ	乙	ハ	ロ	ハ	イ							
號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號
福	岩	佐	長	秋	青	愛	長	愛	秋	栃	京	秋	岡	石	愛	京	群	愛	埼	廣			
島	手	賀	野	田	森	媛	野	媛	田	木	都	出	山	川	媛	都	馬	知	玉	島	島	島	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
石	宮	藤	野	野	警	合	仲	石	田	木	大	森	古	福	喜	堀	小	左	村	白	市	酒	造
川	森	村	井	野	酒	名	田	田	中	村	島	澤	川	光	多	野	右	右	山	市	酒	造	造
豐	榮	精	源	善	造	會	田	田	基	又	源	清	和	松	酒	林	右	右	山	市	酒	造	造
吉	耶	一	耶	造	社	社	太	治	五	兵	助	六	平	太	造	幸	田	田	山	市	酒	造	造

第八回全國酒類品評會授賞人名錄

第八回全國酒類品評會授賞人名錄

白	常	美	譽	力	金	友	稻	龜	鏡	千	砲	興	都	程	豐	梅	慈	富	最	福	鶴	旭
盤	少	乃	菊	か	か	か	江	江	江	代	田	正	乃	乃	乃	乃	乃	乃	上	笑	の	菊
藤	井	年	水	石	ん	鶴	泉	水	山	宗	宗	宗	泉	し	海	川	泉	日	宗	顔	友	水
口	口	ハ	一	ハ	二	イ	イ	イ	口	第	口	口	口	口	口	二	イ	イ	イ	イ	イ	イ
丸	大	南	國	細	五	石	葉	菊	升	吉	中	井	泉	高	財	高	大	中	高	福	福	大
尾	瀧	蕪	井	川	十	田	瀨	地	内	田	村	上	堂	津	橋	瀧	野	爲	爲	田	木	藤
常	直	之	酒	酒	助	三	廣	イ	祭	千	平	太	兵	右	貞	富	爲	爲	爲	九	右	直
吉	助	之	造	合	三	郎	治	吉	ク	吉	吉	平	衛	衛	造	郎	治	治	一	門	門	平
福	浪	桂	金	鶴	松	金	白	ふ	磯	喜	京	折	宮	千	萬	金	捷	桔	八	蘭	長	日
正	宗	花	乃	正	正	の	の	の	乃	乃	正	の	の	代	成	成	正	正	正	正	正	出
宗	花	川	乃	宗	宗	菊	井	澤	宗	時	紙	錦	友	菊	陵	宗	宗	宗	宗	宗	宗	乙
口	口	イ	口	口	イ	ハ	三	二	口	一	口	二	ト	イ	口	口	口	口	口	口	口	乙
岡	大	群	群	新	長	山	山	新	福	京	山	大	北	福	京	香	福	兵	青	廣	和	大
山	分	馬	馬	湯	野	口	形	湯	岡	都	形	分	海	岡	都	川	島	庫	森	島	山	分
庵	小	柳	馬	植	高	長	鈴	小	高	山	中	渡	曲	高	川	株	白	井	橋	村	長	宮
谷	野	澤	場	木	橋	陽	木	林	木	川	村	邊	田	島	本	式	河	上	本	上	谷	崎
万	周	竹	要	助	酒	酒	與	政	喜	榮	丹	宮	本	元	會	式	信	八	右	合	六	玉
龜	藏	次	北	作	造	造	右	太	三	治	治	賢	三	郎	野	造	次	右	名	名	兵	樹
子	藏	郎	吉	八	作	社	衛	郎	郎	郎	一	太	郎	野	野	社	郎	衛	會	會	衛	樹

花	雪	松	天	芦	北	富	比	福	大	一	清	藝	都	富	千	元	千	松	生	開	金	吾	
の	の	の	の	久	男	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正
波	嶺	蔭	山	泉	譽	孟	鶴	鶴	宗	德	山	宗	泉	菊	喜	山	鶴	老	井	一	龍	花	
イ	イ	二	一	イ	ハ	イ	ハ	イ	イ	口	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	
廣	京	兵	佐	廣	北	愛	福	新	兵	栃	群	廣	兵	滋	鳥	福	廣	京	愛	京	山	宮	
島	都	庫	賀	海	道	知	岡	潟	庫	木	馬	島	庫	賀	取	島	島	都	知	都	形	城	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
村	木	太	七	大	野	金	比	十	安	下	村	古	井	多	白	藤	富	原	中	布	岩	井	
善	慶	右	田	正	口	森	鷗	日	野	野	山	川	門	久	方	木	森	田	村	施	井	正	
七	藏	衛	秀	造	吉	合	酒	町	福	酒	清	磐	喜	禮	釀	保	元	德	松	吉	正	造	
秀	美	山	長	千	清	白	淡	坂	栃	北	白	千	蓬	千	松	金	法	瀧	栗	安	折	松	
真	蓉	井	生	宗	長	菊	一	一	華	王	藤	島	鶴	鶴	鳳	豐	宗	音	宗	鶴	紙	げ	
口	イ	イ	一	口	イ	ハ	一	ハ	一	二	一	口	イ	ハ	口	イ	ハ	口	イ	ハ	ハ	ハ	
岡	京	栃	同	北	和	廣	滋	群	栃	北	同	青	廣	福	同	佐	長	秋	同	廣	大	奈	
山	都	木	海	道	歌	島	賀	馬	木	海	同	森	島	岡	賀	野	田	島	島	分	分	瓦	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
内	堀	茂	丸	砂	河	吉	山	海	藤	芳	藤	玉	原	彌	重	宮	栗	木	渡	藤	井	國	
藤	庄	筑	五	流	野	舍	田	津	橋	片	橋	田	田	吉	武	原	原	邊	邊	國	國	次	
緒	右	作	藤	酒	野	酒	新	政	源	岡	源	久	久	利	伊	元	元	魯	魯	次	次	郎	
治	衛	藏	合	造	清	造	八	丞	造	合	名	次	次	八	吉	四	四	一	一	郎	郎	郎	

第八回全國酒類品評會授賞人名録

和泉	旭鼓	太正	金陵	吉泉	清山	噴香	譽海	豐井	岩分	西島	清分	銀力	アルプス	大納言	南正	喜世	北鶴	南郷	美須	仁多	花春		
藤	菊	宗	陵	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山		
口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口		
千石	兵庫	香川	同馬	群馬	山形	熊本	大分	廣島	大分	福岡	静岡	長野	廣島	埼玉	熊本	和歌山	北海道	福島	長野	愛媛	福島		
莊司	榮治	松	合資會社	蠟山酒造株式會社	村山清三郎	設樂勝衛	杉本廣次	財津真造	進藤兵一	高田保	清力酒造株式會社	中井陸平	龜井旭彦	河盛勝三	中山房五郎	南酒造株式會社	留前醸造合資會社	藤井卯之助	武居正文	水口政太郎	宮森常八		
飯	東	一	若	二	東	加	金	菊	楠	大	入	花	澤	天	朝	一	住	美	源	名	見	北	
東	義	櫻	鶴	宗	譽	川	葵	露	光	鶴	宗	井	井	種	風	鎗	井	川	宗	宗	宗	藤	鶴
ハ	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口
群馬	岡山	富山	山梨	神奈川	青森	和歌山	佐賀	埼玉	岡山	廣島	茨城	東京	島根	福岡	栃木	同	新潟	香川	山口	栃木	北海道	石川	
○湯津	○岡部	○若	○若	○大	○中	○和	○佐	○平	○木	○堀	○原	○小	○板	○久	○三	○安	○松	○山	○藤	○藤	○留	○岡	
政	四	野	野	武	村	歌	賀	松	南	英	田	岡	倉	保	添	達	本	田	谷	田	前	重	
之	平	總	總	兵	秀	山	兵	仁	清	太	合	半	軍	山	廣	源	伊	喜	喜	喜	釀	雄	
極	治	一	一	衛	三	一	衛	衛	一	一	名	右	四	四	吉	右	平	太	三	三	造	雄	

銀	て	春	千	瑞	北	松	白	日	夫	全	い	蒼	美	清	恩	住	末	鴨	么	勝	鴻	橋		
人	代	代	代	代	代	代	代	代	代	代	代	代	代	代	代	代	代	代	代	代	代	代	代	
鶴	草	草	草	草	草	草	草	草	草	草	草	草	草	草	草	草	草	草	草	草	草	草	草	
北海	山	岡	群	熊	北	新	兵	山	長	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	
道	形	山	馬	本	海	湯	庫	形	野	形	形	形	形	形	形	形	形	形	形	形	形	形	形	
大成	齋	草	瀧	吉	西	鈴	小	鈴	山	大	鈴	米	畑	宇	永	安	新	福	山	山	京	兵	岡	
株式	藤	地	澤	村	尾	木	西	岸	泉	泉	村	村	英	野	淵	達	城	島	口	口	都	庫	山	
會社	文	増	リ	彦	長	弘	新	節	多	多	平	平	太	善	義	源	猪	之	之	實	泰	與	定	
國	榮	大	重	笑	喜	月	ハ	山	金	梅	同	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大
の	和	和	盛	正	の	山	白	櫻	豆	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和
展	盛	盛	宗	井	山	山	雪	時	羅	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川
	イ	イ	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口
兵	崎	福	愛	長	長	島	岡	兵	福	山	佐	同	福	廣	岡	兵	岡	長	同	大	長	廣	廣	
庫	玉	島	知	野	野	根	山	庫	島	形	賀	賀	島	島	山	山	崎	崎	崎	分	野	野	島	
廣	○小	○丸	○丸	○丸	○丸	○丸	○丸	○丸	○丸	○丸	○丸	○丸	○丸	○丸	○丸	○丸	○丸	○丸	○丸	○丸	○丸	○丸	○丸	
岡	林	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	
宮	善	紋	紋	紋	紋	紋	紋	紋	紋	紋	紋	紋	紋	紋	紋	紋	紋	紋	紋	紋	紋	紋	紋	
太	内	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
郎	ス	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	

第八回全國酒類品評會授賞人名録

白美	桔梗	江戶	秋	銀	東	北	名	去	金	岩	太	吾	蒼	周	恩	吉	東	夜	福	御	國		
虎川	宗盛	錦泉	慢	譽	川	菊	駒	花	宗	妻	海	人	澤	宗	櫻	櫻	顔	松	權	代	國		
イ	ハ	イ	イ	ロ	三																		
山	松	井	佐	飯	木	野	橋	青	青	株式會社	久	香	朝	熊	山	佐	岡	群	岡	山	長	福	
口	本	上	藤	沼	村	口	木	柳	木	本	松	原	鮮	木	賀	賀	山	馬	山	山	山	山	
平	伊	次	太	一	真	次	源	清	順	辰	太	助	太	平	小	義	庄	次	次	次	次	次	
玉	七	濱	折	富	浪	瀧	稻	福	互	長	万	濱	園	さ	山	浮	安	福	福	福	勝	金	
乃	瀨	千	天	久	之	笑	の	の	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃	乃
緒	川	鳥	紙	狗	高	穗	井	德	顔	福	關	力	鶴	富	宗	里	壽	娘	泉	友	手	代	
二	ロ	イ	ロ	ロ	ロ	ロ	ロ	ロ	甲	一	イ												
佐	大	熊	大	愛	福	千	岡	愛	山	岡	大	福	同	愛	同	兵	福	廣	福	岩	秋	朝	
賀	分	本	分	媛	島	葉	山	知	梨	山	分	岡	岡	媛	媛	庫	岡	島	井	手	田	鮮	
大	矢	濱	渡	石	高	角	大	稻	福	長	荒	松	田	仲	佐	鈴木	吉	株	常	合	渡	齊	
隈	野	村	邊	丸	野	田	内	葉	田	尾	木	田	田	田	伯	木	瀨	式	山	會	邊	藤	
夫	猪	喜	魯	研	佐	常	龜	彌	九	彦	皆	寬	十	百	酒	忠	久	會	山	會	幸	酒	
	熊	代	一	一	兵	次	作	吉	右	治	皆	一	郎	郎	造	右	一	社	會	社	四	造	
		太	郎	郎	衛	郎	郎	郎	衛	郎	郎	郎	郎	郎	社	衛	郎	造	三	店	郎	合	

會	一	櫓	名	巖	巴	出	白	菊	祝	芍	蓬	秀	寶	八	鏡	國	錦	群	舞	刈	壽	高
心	德	川	月	里	雪	正	露	鶴	蝶	菜	真	宗	仙	山	泉	盛	龜	宗	宗	孟	種	千
口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口
朝	柳	群	山	群	北	山	廣	愛	同	京	島	岡	長	廣	埼	千	山	群	北	長	大	兵
鮮	木	馬	口	馬	海	形	島	媛	都	根	山	野	島	島	玉	葉	形	馬	海	野	阪	庫
大	下	今	八	高	岡	渡	木	佐	古	谷	伊	内	坂	合	竹	合	安	宮	青	野	高	增
島	野	井	木	井	田	會	原	伯	川	村	藤	藤	井	名	内	資	部	下	木	澤	島	本
三	酒	傳	慶	作	合	會	酒	重	太	文	太	格	る	池	榮	酒	助	孫	順	伊	佐	酒
郎	造	太	太	門	社	直	造	右	藤	太	郎	治	酒	酒	酒	造	右	五	三	三	太	造
笠	松	壽	鶴	代	千	一	富	七	安	英	日	高	濱	神	友	富	金	神	譽	昇	壽	千
置	盛	林	宗	光	聲	雪	笑	鶴	雄	丸	宗	穗	明	友	士	宗	銀	の	菊	天	井	里
水	盛	林	宗	光	聲	雪	笑	鶴	雄	丸	宗	穗	明	友	士	宗	銀	の	菊	天	井	里
イ	二	ロ	ロ	二	イ	ロ	一	ハ	イ	ロ	イ	ハ	ロ	イ	ハ	ロ	イ	二	三	ロ	三	ロ
岐	茨	山	朝	岐	新	山	福	長	廣	同	秋	愛	同	千	埼	福	新	岡	山	滋	同	山
阜	城	形	鮮	阜	潟	形	岡	野	島	島	田	媛	媛	葉	玉	岡	潟	山	形	賀	賀	形
綱	大	西	磯	池	設	富	川	木	森	齊	猪	角	布	友	橋	八	株	國	大	富	大	富
綱	沼	田	村	田	樂	士	合	原	川	澤	野	田	施	竹	本	木	式	井	居	沼	沼	樓
三	保	兼	兼	作	勝	本	新	酒	川	嘉	嘉	常	與	喜	德	小	井	酒	秀	保	保	丑
郎	青	三	三	太	衛	三	助	造	祐	兵	次	太	八	一	田	造	造	合	太	太	之	助

春の 榮 口號 廣島 平山 範一
 露の 口號 三重 樋口 源之丞
 友の 口號 埼玉 友升 喜八
 玉の 口號 岡山 白神 生藏
 花の 口號 愛知 鈴木 新兵衛
 稻の 口號 福島 山中 八次郎
 五稜の 口號 北海道 丸善管谷 合名會社
 頭 口號 京都 富田 善治
 和泉 口號 千葉 庄司 藤治郎
 養老 口號 新潟 五十嵐 東太郎
 山形 口號 山形 水戸部 彌作
 龜形 口號 福島 小針 武雄
 來宗 口號 岩手 田高合資會社
 竹思 口號 北海道 笠原 冬藏

◎味淋ノ部

◎味淋金牌

酒銘 府縣 氏名
 九重 櫻 口號 愛知 石川 八郎
 同 同 同 同 同 同

◎味淋銀牌

乙女 口號 愛知 佐藤 孫七
 今九 口號 同 鈴木 富太郎
 乙女 口號 同 佐藤 孫七
 廣女 口號 同 佐藤 孫七
 張廣 口號 同 佐藤 孫七

◎味淋銅牌

櫻八千 口號 愛知 風岡 小七
 桐世 口號 岐阜 森茂 右衛門
 白鶴 口號 兵庫 嘉納 合名會社
 三ツ 口號 愛知 宇津 寅市
 甘乃 口號 靜岡 勝山 谷藏
 菊乃 口號 京都 四方 合名會社
 寶々 口號 京都 安達 源右衛門
 寶々 口號 京都 四方 合名會社
 壽々 口號 熊本 木田 喜久八

◎味淋褒狀

松之 花 廣島 松野 三宅 清兵衛
 萬之 樂 岐阜 松野 三宅 清兵衛

花の 吹栗 兵庫 山邑酒造株式會社
 山の 吹栗 兵庫 武藏野酒造株式會社
 瀧津 吹栗 岐阜 山田 夏造
 萬歳 吹栗 廣島 三宅 清兵衛
 金合 吹栗 兵庫 江井ヶ島酒造株式會社
 寶和 吹栗 京都 四方合名會社
 大和 吹栗 愛知 安達 文一
 鶴 吹栗 京都 谷垣 松次郎
 菊味 吹栗 三重 宮崎 由太郎
 彌生 吹栗 新潟 山本 善助
 白生 吹栗 岐阜 大橋 金一
 桐八世 吹栗 岐阜 高島 平介

◎燒酎ノ部

◎燒酎金牌

府縣 氏名
 鹿兒島 江口 隆二郎
 兵庫 明石酒類醸造株式會社

第八回全國酒類品評會授賞人名錄

◎燒酎銀牌

當陸山甲(粕取) 福岡 塚本 彌三郎
 入井印(粕取) 熊本 井上 傳藏
 鬼教(粕取) 新潟 川口 嘉六
 第二號燒酎(粕取) 福岡 中島 彌吉
 第一號燒酎(粕取) 福岡 宮崎 彌策

◎燒酎銅牌

浦田(甘露) 鹿兒島 久留 新兵衛
 國の露(釀取) 熊本 崎元 忠助
 三ツ三 第三號(新式釀取) 鹿兒島 大日本酒精株式會社
 池乃龜乙號(粕取) 福岡 首藤 三四郎
 山(粕取) 新潟 川口 茂

◎燒酎銅牌

常陸山乙(粕取) 福岡 塚本 彌三郎
 壽(粕取) 長崎 友永 定吉
 ミツ三 第一號(新式釀取) 鹿兒島 大日本酒精株式會社
 浦島(釀取) 鹿兒島 浦島 正兵衛

第八回全國酒類品評會授賞人名錄

潮來	(新式醱取)	兵庫	○明石酒類醸造株式會社
寶來	(醱取)	熊本	球磨燒酎株式會社
源藤	(醱取)	宮崎	串間新市
福乃友	(甘諸)	埼玉	神上幾之助
櫻乃	(甘諸)	鹿兒島	櫻井森右衛門
園の露	(醱取)	同	植間太次郎
譽の	(甘諸)	同	申瓦燒酎株式會社
北不二	(新式醱取)	北海道	北海酒類株式會社
命	(甘諸)	鹿兒島	中間庭直右衛門
白	(甘諸)	同	島屋太次郎

○燒酎褒狀

英	俊	(粕取)	徳島	堀田彌之助
東	洋	(粕取)	長崎	宮崎繁雄
高	千	(醱取)	宮崎	河野酒造株式會社
萬	歳	(新式醱取)	大阪	井上酒造株式會社
菊	水	(醱取)	宮崎	山本今朝吉
帝	波	(醱取)	千葉	帝國酒造株式會社
金	波	(新式醱取)	長崎	四海文十郎
金	明	(醱取)	北海道	北海酒類株式會社
金	摩	(甘諸)	熊本	林順三
真	幸	(甘諸)	鹿兒島	原田チカ
			宮崎	春園熊吉

福	徳	(新式醱取)	和歌山	日本豐醸株式會社
富	代	(醱取)	宮崎	矢野周記
富	川	(醱取)	鹿兒島	新屋喜久雄
千代	天	(粕取)	長崎	吉田千代藏
金	乃	(新式醱取)	熊本	天草酒類株式會社
福	友	(粕取)	埼玉	神山幾之助
出	水	(醱取)	鹿兒島	中尾榮之助
寶	口	(新式醱取)	京都	四方合名會社
同	口	(新式醱取)	同	石崎清太郎
同	口	(新式醱取)	同	福永喜左衛門
香	泉	(醱取)	鹿兒島	小野喜久次
白	梅	(粕取)	福岡	荒木榮太郎
合	梅	(粕取)	宮崎	中井仁藏
合	第一	(醱取)	鹿兒島	川添小吉
出	水	(醱取)	同	○中尾榮之助
天	輝	(新式醱取)	福岡	大日本製酒株式會社
天	天	(新式醱取)	鹿兒島	小牧隆太郎
金	天	(新式醱取)	熊本	○天草酒類株式會社
清	天	(醱取)	同	津田藤吉
霧	霧	(醱取)	鹿兒島	小牧伊勢吉
霧	霧	(醱取)	鹿兒島	窓乃梅酒造株式會社
霧	霧	(醱取)	鹿兒島	貴島家定

北	不	二	一	(新式醱取)	北海道	○北海酒類株式會社
九	重			(新式醱取)	長崎	日本酒料株式會社
悠	乃			(醱取)	宮崎	中武重臣
盛	興			(醱取)	熊本	鳥飼棟太
天	輝	第一	(新式醱取)	福岡	○大日本製酒株式會社	
佳	雪	口	(粕取)	埼玉	星野清次郎	
羽	揚	甲	(粕取)	福岡	首藤信次郎	
銀	の	露	(醱取)	熊本	淵田長一郎	
ト	ン	ホ	(粕取)	廣島	廣島製酒株式會社	
富	士		(粕取)	奈良	松田徳松	
千	代	乃	(醱取)	長崎	大場卯三郎	
紫	尾	乃	(醱取)	鹿兒島	中村吉太郎	
命			(甘諸)	同	西藤吉	
命			(粕取)	千葉	小倉五郎	
鶴	嶺		(甘諸)	鹿兒島	鶴田藤次郎	
六	長	子	(醱取)	熊本	○球磨醸造株式會社	
猿	川		(醱取)	長崎	伊豆倉太郎	
瑞	穗		(醱取)	鹿兒島	久保善次郎	
地球	金	時	(新式醱取)	同	薩摩醸造株式會社	
稻	の	露	(醱取)	熊本	外山峰平	
坂	東	譽	(粕取)	茨城	杉野久三郎	
羽	揚	乙	(粕取)	福岡	○首藤信次郎	
大	鴻		(新式醱取)	千葉	○帝國酒造株式會社	

第八回全國酒類品評會授賞人名錄

鹿兒島 白石 靜藏

◎表彰杜氏氏名

廣島縣	清酒	賀茂鶴	第二號釀造場杜氏	川田喜藏	廣島縣	清酒	三吉正宗	釀造場杜氏	上迫綱次
同	同	同	第一號釀造場杜氏	山本若松	岡山縣	同	笑鬼	同	原田岩吉
秋田縣	同	白菊	釀造場杜氏	小原市太郎	靜岡縣	同	滿壽一	同	谷澤重作
廣島縣	同	福美人	第一號釀造場杜氏	殿島政之助	秋田縣	同	兩關	同	伊藤隆三
同	同	國の一	釀造場杜氏	矢田部音松	京都府	同	金鷄正宗	同	田中龍三
同	同	三吉正宗	同	南條堅次	岡山縣	同	富祿正宗	同	藤井熊一
秋田縣	同	福娘	同	木村作太郎	愛知縣	同	幸泉	同	關菊次郎
廣島縣	同	福美人	第二號釀造場杜氏	植木留吉	廣島縣	同	旭菊水	同	木峰格一
同	同	關西一	釀造場杜氏	植野久太郎	岡山縣	同	鸛鷺正宗	同	吉川與次郎
同	同	日の丸	同	大上小市	廣島縣	同	賀茂輝	同	池本龜藏
栃木縣	同	國光正宗	同	原貞治	愛知縣	味淋	九重櫻	製造場杜氏	齋藤政二郎
廣島縣	同	醉心	同	元川淺之助	兵庫縣	燒酎	若竹	同	山澤茂

附錄

日本醸造協會主催 第八回全國酒類品評會出品及授賞數表

◎清酒ノ部

○關東支部

道府縣別	出品總點數	人員	授賞	總數(人員)	授賞	出品點數
			金牌(人員)	銀牌(人員)	銅牌(人員)	對スル授賞點數百分率
東京	一一	九	一(一)	一(一)	一(一)	四五、四
神奈川	三二	二二	一(一)	一(一)	一(一)	四五、四
埼玉	一一九	八五	一(一)	一(一)	一(一)	六、三
千葉	六二	四二	一(一)	一(一)	一(一)	三四、八
山梨	三七	二六	一(一)	一(一)	一(一)	三五、五
栃木	八三	五八	一(一)	一(一)	一(一)	一三、五
茨城	六三	四七	一(一)	一(一)	一(一)	三四、九
群馬	八四	五三	一(一)	一(一)	一(一)	一九、〇
計	五〇一	三四二	一(一)	一(一)	一(一)	四四、〇

第八回全國酒類品評會授賞人名錄

第八回全國酒類品評會授賞人名錄

朝鮮	計	二	二	一	一	一	一	四〇
合計	九〇	七七	〇二(一)	〇一(四)	〇二(八)	〇三(二)	二五(二五)	三六七

◎燒酎ノ部

○關東支部

府縣別	出品總數	同人員	金牌(人員)	銀牌(人員)	銅牌(人員)	褒狀(人員)	授數(人員)	出品點數ニ對スル授賞點數百分率
東京	一	一					一	一〇〇.〇
神奈川	二	一					二	六〇.〇
埼玉	五	三					〇二(二)	七九.〇
千葉	四	三					一	一〇〇.〇
茨城	一	一					一	一〇〇.〇
計	一三	九					〇二(四)	五三.八

○近畿支部

大阪	二	一					一	五〇.〇
----	---	---	--	--	--	--	---	------

京都	三	一					二	六六.七
兵庫	二	二					〇一(一)	一〇〇.〇
奈良	二	二					一	五〇.〇
和歌山	二	二					一	五〇.〇
滋賀	二	二					一	五〇.〇
計	一三	一〇					〇六(六)	五三.八

○北海道支部

北海道	六	三					〇三(一)	五〇.〇
計	六	三					〇三(一)	五〇.〇

○東北支部

山形	一	一					一	一
計	一	一					一	一

○中部支部

三重	三	三					二	六六.七
計	三	三					二	六六.七

第八回全國酒類品評會授賞人名錄

新野	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	六	五	二	一	一	一	一	一	一
總計	二〇〇	六六、七	一〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

○中國支部

廣島	三	二	一	一	一	一	一	一	一
山口	五	三	一	一	一	一	一	一	一
計	八	六	二	二	二	二	二	二	二
總計	三三、三	二〇、〇	一	一	一	一	一	一	一

○四國支部

愛媛	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	六	六	一	一	一	一	一	一	一
總計	一六、七	二〇、〇	一	一	一	一	一	一	一

○九州支部

熊本	一	一	一	一	一	一	一	一	一
福岡	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	二	二	二	二	二	二	二	二	二
總計	九一、〇	六二、一	一	一	一	一	一	一	一

人分	三	三	三	三	三	三	三	三	三
長崎	二	一	一	一	一	一	一	一	一
佐賀	一	一	一	一	一	一	一	一	一
鹿兒島	九	八	一	一	一	一	一	一	一
宮崎	三	二	一	一	一	一	一	一	一
沖繩	四	四	一	一	一	一	一	一	一
計	一八	一五	一	一	一	一	一	一	一
總計	三三、三	三六、七	一〇〇、〇	二九、七	二六、七	一	一	一	一

○朝鮮

朝鮮	六	六	一	一	一	一	一	一	一
計	六	六	一	一	一	一	一	一	一
總計	二二、〇	二二、〇	一	一	一	一	一	一	一

大正十一年十月十日

大正十一年十月十日

授賞人名錄
第一等賞
第二等賞
第三等賞
第四等賞
第五等賞
第六等賞
第七等賞
第八等賞
第九等賞
第十等賞

大正十年十一月二十七日印刷
大正十年十一月二十八日發行

日本釀造協會代表者

著作兼發行者 佐藤悟郎

東京府北豐島郡瀧野川町釀造試驗所官舎

發行所 日本釀造協會

東京府北豐島郡瀧野川町釀造試驗所内
電話 小石川三三八番

印刷者 金子鐵五郎

東京市赤坂區新町五丁目四十二番地

印刷所 金子活版所

東京市赤坂區新町五丁目四十二番地

明治三十九年五月十六日第三種郵便物認可
大正十年十一月廿八日發行日本釀造協會雜誌號外
(每月十日一回發行)

終